

4日目 9月22日

会 場： 県立浜山球場

第2試合		～3回戦～																	
TEAM		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
島根中央		0	1	0	0	0	0	0	0	0							1	6	0
大 社		3	0	0	0	0	0	0	0	X							3	9	1
(投手-捕手)																			
・ (中)		田平→梶 - 郷原																	
・ (大)		山本→馬庭 - 石原																	
(長 打)		(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (中)																			
・ (大)																			
(審判) [球審]		下谷				〔一塁〕 佐々井				〔二塁〕 波多				〔三塁〕 三浦					
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨	
(中)	37	6	1	0	0	0	14	4	2	0		0		0	0	1	0	0	
(大)	38	9	3	0	0	0	5	7	2	1		1		1	0	0	0	0	

### 「大社、投手陣が計14奪三振！」

2023年春の準決勝以来の対戦となった。両校ともに前のチームから主力が残っていて注目される一戦となった。大社は山本を初戦と同じく先発に起用する。立ち上がりに四球と安打で1死1・2塁のピンチを招いたが、4番郷原を見逃し三振、5番水口を遊ゴロに打ち取り無失点で切り抜ける。対する島根中央は春と同じく田平を先発に起用する。しかし、立ち上がりに安打を許すと連続四球で無死満塁のピンチを招く。4番石原が三遊間を破る適時打を放ち大社が先制点を奪うと、田平の制球が定まらず2つの押し出し四死球を与え降板した。

島根中央は2回表に四球と安打、敵失で無死満塁と好機を得ると、1死から1番田原がレフトへ適時打を放ち1点を返した。しかし、2番山下、3番米田が連続三振に倒れ好機を生かし切れなかった。その後は島根中央2番手の梶と山本の投手戦となった。梶は4回裏に1死1・3塁のピンチを招くと、大社は4番石原がスクイズを仕掛けたがファールとなり右飛で凌ぐと、満塁とされるも6番山本を左飛に打ち取り勢いに乗った。8回にも四球と連打で無死満塁のピンチを招いたが、2番園山を遊直で打ち取ると3塁走者の離塁が大きく併殺となると、大社は重盗を仕掛けたが捕手の郷原が落ち着いて3塁で刺した。

島根中央は反撃したかったが、山本に6回8奪三振、7回から継投したエースの馬庭に3回6奪三振を許し反撃できなかった。立ち上がりを攻めて得点した大社が強力な投手陣を生かして逃げ切った試合だった。

